

☆すその

市議会だより



鹿島神社の祭り

- 議長、副議長就任挨拶、9月定例会主な議案 2～3 ページ
- 代表質問 4～5 ページ
- 常任委員会報告 6～7 ページ
- 一般質問（6人） 8～10 ページ
- 新しい常任委員会 11 ページ
- 産業建設水道委員会視察報告 12 ページ

9月定例会

9月定例会日程

8月29日(金)	本会議
9月3日(水)	本会議、代表質問
9月4日(木)	本会議、代表質問
9月5日(金)	現地視察
9月8日(月)	総務委員会
9月9日(火)	総務委員会
9月10日(水)	厚生委員会
9月11日(木)	厚生委員会
9月16日(火)	産業建設水道委員会
9月17日(水)	産業建設水道委員会
9月18日(木)	文教消防委員会
9月19日(金)	文教消防委員会
9月22日(月)	本会議、一般質問
9月24日(水)	本会議、一般質問
9月26日(金)	本会議

9月定例会において

議長に 星野季夫氏
副議長に 瀧本敏幸氏

この度、議員諸氏の推挙をいただき、議長並びに副議長に就任いたしました。職務の大きさと責任の重さを改めて考える時、より一層身の引き締まる思いであります。

米国で端を発した金融不安が世界中に広がり、日本国内の経済にも影響が及んでいる状況の中で、外交問題や景気対策、社会保障問題等々、国や地方自治体及び国民生活を取り巻く環境は、沢山の課題を抱えている状況であります。

そのような中で、裾野市としても、今後の道州制導入や、広域行政への対応など、将来を見据えた市政運営と、市民生活の安全・安心を確保していくために、議会における透明性の高い活発な議論を通じて、市民の皆様の信頼に応えられるように鋭意努力し、取り組んでまいります。議会活動への一層のご理解を賜りますようお願い申し上げます。



副議長
瀧本敏幸



議長
星野季夫

◆地方公共団体の財政の健全化に関する法律が平成19年6月22日に公布されました。そのため、平成19年度決算から財政指標の公表をすることになりました。

◆今回、9月定例議会で、平成19年度裾野市決算の数値による健全化判断比率と資金不足比率が報告されました。

◆19年度一般会計決算
歳入は、216億7千399万1千円で、歳出は、205億3千626万6千円です。

歳入歳出差引額は、11億3千772万5千円となり、この内、20年度に繰り越す財源は2億2千900万7千円で、これを除いた実質収支額は、9億871万8千円となりました。このうち、財政調整基金に4億6千万円を繰り入れることにしました。

[健全化判断比率]

	裾野市	早期健全化基準	財政再生基準
①実質赤字比率	—	12.75%	20.0%
②連結実質赤字比率	—	17.75%	40.0%
③実質公債費比率	8.3%	25.0%	35.0%
④将来負担比率	15.7%	350.0%	

[資金不足比率]

	裾野市	経営健全化基準
裾野市十里木高原簡易水道特別会計	—	20%
裾野市下水道事業特別会計	—	20%
裾野市水道事業会計	—	20%

*どれも資金不足はありません。

- ①実質赤字比率……一般会計の実質赤字額を標準財政規模で割った比率。黒字の場合は「—」と表示される。
 ②連結実質赤字比率……全会計の赤字額から黒字額を引いた額を標準財政規模で割った比率。黒字の場合は「—」と表示される。
 ③実質公債費比率……一般会計などが負担する起債の元利償還金などから特定財源を差し引いたものを標準財政規模で割った比率。
 ④将来負担比率……将来負担する額から特定財源や財政調整基金などを差し引いたものを標準財政規模で割った比率。
 ○標準財政規模……一般財源（市民税や地方譲与税など）をベースとして、自治体が標準的な行政サービスを行うために必要な財政規模を示す数値。

[一般会計・特別会計決算状況]

一般会計	各会計名	歳入	歳出	差引額
一般会計		216億7399万1千円	205億3626万6千円	11億3772万5千円
特別会計	国民健康保険	44億4715万円	43億3525万1千円	1億1189万9千円
	老人保健	29億3371万8千円	29億4890万2千円	△1518万4千円 ※
	介護保険	19億3857万5千円	18億9415万6千円	4441万9千円
	土地取得	94万5千円	94万4千円	1千円
	十里木高原簡易水道	3253万9千円	3253万8千円	1千円
	下水道事業	10億8835万4千円	10億8835万3千円	1千円

※老人保健特別会計の不足額は、翌年度歳入繰上充用金を充てました。

水道事業会計	区分	収入	支出
水道事業会計	収益的	8億3169万4千円	7億6746万3千円
	資本的	1億1463万円	7億6105万5千円 ※

※資本的収入額の不足額は、留保資金などから補てんしました。

19年度一般会計決算
9億871万8千円の黒字
特別会計1億4千113万7千円の黒字

平成20年度一般会計 補正予算(第3回)

当初予算と6月補正予算の
総額に3億5千700万円を追加
して、歳入歳出予算の総額を
211億6千200万円としました。

歳入(主なもの)

○市税

設備投資による償却資産の
増による 1億500万円

○特別会計繰入金

前年度精算による

1千434万6千円

○財産区繰入金

教育振興のための繰入

416万9千円

○繰越金

2億2千29万8千円

○諸収入

民生安定施設道路整備事業
費補助事業費確定による

1千272万3千円

歳出(主なもの)

○管理納税費

市税過年度還付の増による
7千万円

○企業誘致費

新富士裾野工業団地外周部
道路改良工事による

4千97万9千円

○道路新設改良費

市道新設改良促進による

1億2千300万円

○特定防衛施設道路整備事業
費

補助事業施工に伴う関連工
事等の増による

4千330万円

○消防施設費

東分団茶畑詰所建設工事業
費の増による

900万円



造成がすすむ新富士裾野工業団地



市道2093号線 ガードレール設置(桃園)



市道1366号線 道路拡幅(深良)



市道2-23号線 道路拡幅(御宿)

各区からの要望に
応える

教育委員会委員の任命

本年9月30日をもって任期
満了となる委員2名と、裾野
市教育委員会委員定数条例の
改正に伴い、増員される委員
1名の任命に同意しました。

御宿683番地

勝又美代子(英語教師)



勝又美代子さん

稲荷21番地

小林靖幸(司法書士)



小林靖幸さん

桃園162番地の5

桃井昭一(会社役員)



桃井昭一さん

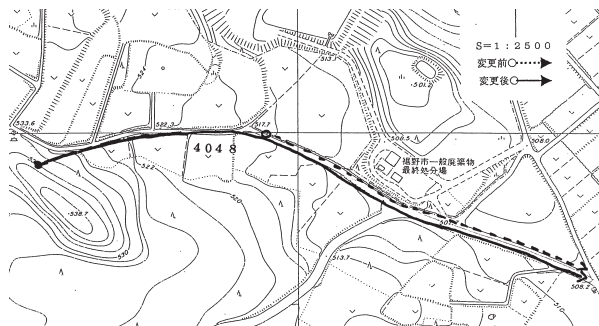
市道路線の認定・変更

須山宇内野(起点)から須
山宇大野(終点)地先の路線
が認定されました。



市道4387号線

須山宇大野地先の路線が変
更されました。



市道4048号線

質

問

会派を代表し
5人が質問に
立ちました。

裾野市の将来像・財政見
通し・人づくりについて

五竜クラブ

高村 謙二

Q 駿東地区広域行政推進協
議会の協議の見通しと合
併に関する市長の考えは。

A 道州制での区割り・税財
源制度設計のあり方・基
礎自治体の規模等が課題。合
併は枠組みありきでなく、固
定観念にとらわれずに協議。

Q 来年度予算編成における
市民税収の見通しは。

A 金融不安や原油・原材料
高騰等、不透明な景気動
向だが見極めて算定したい。

Q 将来の豊かな税収確保策
として何をすべきか。

A 道路等の都市基盤整備、
子育て環境の整備、宅地
供給促進等、魅力あるまちづ
くりを推進し、定住人口の増
加とファルマ関連等の将来性
ある企業誘致を図り、今後の
安定した財源を確保したい。

Q 裾野らしい「人づくり」
のための教育振興基本計
画の策定を。

A 第4次総合計画に併せて
策定の予定。あらゆる教
育の機会を生かし「心の教育」
に力を入れ人材育成に努める。

まちづくりビジョン・

深良新駅・子育て両立支援

五竜クラブ

増田 喜代子

Q ウェルネスや豊かな自然
を活用した観光基本計画
の策定とフィルムコミッシ
ョン（FC）推進の考えは。

A 観光基本計画は、自然環
境等の資源を有効活用し
観光振興を図るために必要。
第4次総合計画策定に併せて
検討する。FC事業は裾野の
魅力発信のため積極的に対応

Q 新駅に関する調査に基
いての新たな取組みは。

A 新市街地整備について、
地区の位置づけや上位計
画との整合、権利者の勉強会
を行い、面的整備に向けた計
画を検討していきたい。

Q ①急な発病時の対処策で
ある緊急サポートネット
ワーク②放課後児童対策等の
子育てと仕事の両立支援策は。

A ①沼津の「活き生き子育
て緊急サポート」が対応。
このPRに努める②放課後児
童室でアンケートを実施し、
今後の対応を検討。放課後こ
どもプランは21年度中にモデ
ル校区での試行に向け検討。



新駅設置を求める看板（深良）

ゆとりある、豊かな教育
現場、環境をめざして

新世紀

八木 長生

Q 非常勤講師一日当り勤務
時間小学校6時間を中学
校並みの7時間とし、教師の
業務を分担して時間短縮を。

A 勤務時間の拡大には予算
が絡むので慎重に対応し
ていく。

Q 非常勤講師の時間延長で
時短進まないときは、学

校事務を共同処理するセンター
方式を取り入れる方向を。

A 市事務職員の配置により
教員との仕事分担ができ
ている。従ってセンター方式
よりも優れていると考える。

Q 県教育委員会の静岡30人
学級編成の導入発表に一
番手を取り組み実施を。

A 市単独では財政負担が大
となり簡単には進められ
ない。関係機関に働きかける。

Q 小中学校、幼稚園、保育
園の100%耐震化計画と対
応はどうなっているか。

A 小中学校については、平
成24年までの計画を一年
前倒しで実施。幼稚園は完了。
保育園は平成22年度までに完
了予定だが、国庫補助の状況
による。

Q キャリア教育とは勤労観・
職業観を育てる教育であ
り、裾野の取り組み状況は。

A 市内の工場・研究所の見
学は毎年行われている。

また、経験者の生の話を聞く
機会も設けている。

Q 家庭教育が甘い現状で、
学校の道徳教育を再認識
し、教師一体で取り組みを。

表

代

A 学校での道徳教育と家庭・地域との連帯を柱に推進していく。

Q 富岡保育園の改築計画と各保育園の公設民営化の検討を。幼稚園の幼保一元化と認定こども園の考えは。

A 現在地での一部建て替え及び耐震補強工事を計画。公設民営化は保育園全体で検討が必要。幼保一元化は財政改革、子育て支援からも検討。こども園は地域の実情にに応じた柔軟な対応ができるが、課題もあり今後研究していく。



富岡保育園

戦争の悲惨さを後世に
伝える活動と食料自給率

日本共産党
小澤 良一

Q 市主催の戦没者追悼式が8月15日に実施されている。戦後63年、戦争があつたことや戦争の悲惨さを後世に伝え、再び戦争をしないために式典だけに終わらず、御殿場市、長泉町、三島市、沼津市のように市が支援した「戦争悲惨継承事業」を行う考えは。

A 平和はたいへん大事なことである。市民の自主的な活動が平和の構築につながる。金銭的なバックアップは考えていない。

Q 食料自給率向上と農作物の地産地消を拡大するために、農業を市民的取り組みにするには「市民協働のまちづくり計画」に組み入れる必要があると思うがどうか。

A 市民と共に協働のまちづくりを行う中で担当部室（地域振興室等）と連携を取っていく。



休耕田イメージ

斎場の建て替えと整備、
妊婦健診の公費負担拡充

公明党
三 富 美代子

Q 老朽化が進んでいる斎場の建て替えと整備について、市民要望の多いペットの火葬も行える施設への見解は。

A 市民要望は承知している。今後の基本計画の中で検討していく。

Q 子育て支援の充実を図るためにも、公立保育園への民間活力導入が必要と考えるが、対策について伺う。

A 民営化も含めた保育園の今後のあり方について次世代育成支援対策行動計画の見直しの中で検討。

Q 現在、実施されている妊婦健診の5回の公費負担回数を14回全てに拡大できないか。

A 公費負担回数をできるだけ多くするよう考えたい。

Q 遊休農地を利活用し、市民農園を促進できないか。農地所有者への働きかけや意向調査等に関する見解は。

A 市民農園は農地所有者の直営による開設を指導、市として協力していく。遊休農地対策として意向調査を考えていく。



母子健康手帳

レポート

総務委員会

**裾野市の将来像を左右する
ファルマバレー構想に参画
企画部関係**

企画部全体の一般会計歳出
決算の総額は36億7千792万円
で、執行率は96.7%。

◎経営戦略会議を、ファルマ
バレー構想と地域づくりをテ
ーマに2回開催。ファルマバ
レー構想は、裾野市の将来を
左右するもので、本年度、都
市エリア産学官連携促進事業
に加入できたことが成果。

◎市営墓地は、用地買収・補
償契約等に遅れが出たが、ほ
ぼ予定通りに進行。来年度500
区画販売開始の予定。

◎不用額12億円について、工
事関係の入札差金・補助金の
確定等、早めに対処できるも
のは補正予算で対応した。先
行き不透明な景気・財政状況
下では行政評価の精度を上げ、
行政の効率的運営・経費節減
に努める必要がある。ある程
度の不用額もやむを得ない。

◎年間約150万通の電子メー
ルの内、84%が迷惑メール。対
策ソフトを導入して排除。

出納室関係

◎基金・現金等を、金融機関
の財務内容を調査し、リスク



現地視察（新富士裾野工業団地）

の無い様に分散してきめ細か
く運用。2千597万円の運用益。
総務部関係

総務部全体の一般会計歳出
決算の総額は13億4千246万円
で、執行率は95.76%。

◎滞納処分、債権調査を開
始。預金・国税還付を差し押
え、39件1千487万円を収納。

◎人事研修は、目標管理・管
理職のOJT（職業指導）・
公務員倫理に特に注力して実
施。

◎人事評価は、目標管理を基
本とする制度設計を行った。
20年度に室長級以上・21年度
に全職員の研修を行い、22年
度から正式に実施したい。

質疑終了後、一般会計決算
の関係部分に反対の討論があ
り、採決の結果、賛成多数で
原案どおり認定されました。

厚生委員会

**厚生委員会での平成19年度
決算審査の概要紹介**

厚生委員会は主として次の
行政分野を担当します。

- ①地域振興に関すること
- ②戸籍や住民票に関すること
- ③福祉に関すること
- ④保健や医療、国民健康保険、介護保険に関すること
- ⑤ごみ処理や環境衛生に関すること
- ⑥防災や安全に関すること

これらに対応する会計は、
一般会計の関係部分、国民健
康保険特別会計、老人保健特
別会計、介護保険特別会計、
の4つです。

委員会で審査された事柄の
抜粋をご紹介します。

地域振興室は20年4月発足
です。区長会、男女共同参画
ボランティア推進、結婚相談、
コミュニティづくり推進など、
担当事業の19年度決算を地域
振興室で審査しました。

19年度から始まった中学3
年生までのこども医療費は、
6千137万円の支出となりました。

障害者計画見直しのため、
アンケート調査を行いました。
21年度からの第2期障害者福

祉計画に反映されます。
敬老対象者に配付したヘル
シーパーク利用券は59%が利
用されました。

国民健康保険特別会計決算
は約43億円、一般会計からの
繰入金は約3億2千万円とし
た。後期高齢者医療制度が20
年度から始まるため、国民健
康保険税の賦課割合の見直し
を国民健康保険運営協議会に
諮問し、答申がされました。

介護保険で要介護と認定さ
れた人数は1千154人で14名増
加でした。決算額は約19億円
でした。

老人保健特別会計決算は約
29億円、一般会計からの繰入
金は約2億3千万円でした。



現地視察（北児童館）

決算審査

産業建設水道委員会

市民生活に身近な産業・都市基盤の決算審査

産業建設部関係

7室で40億4千960万円の決算総額で一般会計の19.7%翌年度への繰越額は1億8千912万円で土木費と災害復旧費です。

審査では、梅の里の年間を通しての利用方法やイベントの開催時期に質疑が集中し、植栽樹木の変更等が提言された。商工中金や労働金庫への

預託金制度は発足当時と金融事情も変わり、地方自治体の財政を圧迫している意見が出された。区画整理では平成19年度に工事が着手されたが、河川工事で近年のゲリラ降雨への対応と物件調査委託料の精査の要求があり、建設関連では廃室となった地籍調査室の事業が将来の都市基盤整備



現地視察（昨年の台風による被害箇所）

への影響を憂慮する意見が出された。また、昨年の台風9号の災害対応への報告があり、林道関連の復旧状況の報告もされた。

都市計画室では新設の公園工事で消防施設の所管部署との調整の不具合を指摘する意見が出された。

水道部関係

十里木高原簡易水道の給水人口の減少と施設の老朽化による有収率の低下が著しく20%を切ってしまっている。特別会計になっているので市当局と抜本的な対策について早急に協議に入らなければならぬが全体で60億円とも見込まれる投資額をどのようにするのか大きな課題が残る審査となった。下水道室では現予算では毎年1%強の普及率で進捗し、水道事業会計で人件費が一般会計での他部署に比べ高くなっていることが給水原価に影響していることや、81%を切っている有収率の向上対策が質疑され、30年前の大規模分譲地の個人管である枝管の敷設替えが済み、今後アップしていく報告を受け審査を終了した。

文教消防委員会

中学校の市費負担非常勤講師の勤務を1時間延長

消防関係

裾野高校に設置した100トンの耐震性貯水槽の費用内訳は、水槽本体価格が495万円、設置工事費が39万5千円だった。

また、子どもたちの防火・防災意識を高揚するため教育委員会と連携した防災体験学習ホール活用の提案があった。

教育部関係

学校教育室関係では、市費負担非常勤講師について、中学校は1時間延長した7時間勤務で月額報酬は17万600円。また、小学校は6時間勤務のままで月額報酬は14万6千400円。

教育総務室関係では、小学校プール等の水道料が天候等により変動するため余裕を持った予算額とした結果、多額の不用額が出たことに対して、必要額を十分に精査して予算立てするように要請した。

給食管理室関係では、自校方式の小学校における給食費の未納（6名、38ヶ月分、10万6千400円）に対して、学校から保護者に連絡を取っているが、学校だけで対応できない場合は給食センターも一緒

に対応。平成20年9月現在、未納金の7万8千400円は納めてもらった。

生涯学習室関係では、市民文化センターの工事請負費で760万円余の不用額が出たのは、屋上の雨漏り防水工事を予定したが、完全補修には屋根側からの工事が必要と分かり、平成20年度に調査し、平成21年度から対応することにしたため。また、富士山資料館の需用費の流用と不用額については、年度途中で台風被害に伴う郷土館等修理に予備費を8万4千円を流用したが、電気料等の節約により46万円が余った。

以上、質疑により事業執行状況を確認し、全会一致にて、平成19年度裾野市一般会計歳入歳出決算についての内の文教消防委員会の関係部分について原案通り認定されました。



現地視察（裾野高校の耐震性貯水槽）



一般質問

水泳場建て替えと温水プール・ 裾野駅東口道路整備

渡部 昭三

質 老朽化が進む市立水泳場を取り壊し、跡地に市民の健康づくりの拠点として、年間を通して使える「温水プール」に建て替えてはどうか。

また、建設する際は維持管理費等にも配慮し、費用効果対策として25M短水路温水プールが望ましいと考えるが、当局の考えを伺う。

答 まずは学校等の義務教育施設を優先し、その後の

財政状況の見通しがたてば建設したいと考えている。来年度からの実施計画に採択できるように、財政的見地から努力していく。施設は最小コストで最大の効果が得られる適正な規模が望ましいと考える。

質 裾野駅東口付近における市民の交通安全確保について、道路整備の早期取り組みを強く要望しますが、当局の考えを伺う。

答 裾野駅に最も隣接した住宅地域で、その整備の必要性は十分に認識している。現在、地権者資料の整理・既存道路の拡幅計画図を作成している。本年中に説明会を開催し、地権者の同意を得られるように取り組んでいく。

建設後40数年経つ水泳場（石脇）



公園整備と交通安全対策について

芹澤 邦敏

質 石脇地先の親水公園の管理内容と、将来的に公園周辺を回遊性のある遊歩道とする整備計画について、現在の状況はどうか。

答 芝生の刈り込みや樹木の剪定が主な管理内容。遊歩道は、黄瀬川の護岸整備を優先しつつも、事業化が可能か否か県と相談したい。

質 梅の里の駐車場ロータリー周辺に、富士山にマッチしたトイレを作る考えは。また、夏場の梅の里公園管理の実態は。

答 現状のトイレで対応できると判断。新規のトイレ設置は考えていない。夏場の公園管理は、今後は遊歩道も下草刈りをし、回数も増やして散策できる様に検討する。

質 高齢ドライバーの交通事故減少を図るため、高齢者が運転免許を返納しやすい環境作りが必要と考えるが、高齢者運転免許自主返納支援事業に取り組む考えは。

答 警察主導で広がりを見せている。返納支援制度は有意義と考えているので、静岡県警察本部等の動向を見ながら研究したい。

梅の里公園（須山）





一般質問

行政改革について

質 職員の育成において「民間の力」「民間のノウハウ」を身につけるため、新入職員を対象に大手企業への教育実習を実施する考えは。

答 企業等との交流は、経営手法を学び、意識改革を図るために重要。現在の職員研修との調整を図り、実施に向けて調査・検討したい。

質 行政改革で浮かした財源を市債の繰り上げ償還に廻して、利子負担等の圧縮を考えていくことはないか。

答 市中金融機関等から借入れた資金は低利率で借りており、繰り上げ償還の有効性は少ない。

質 人件費（削減人員）について、平成21年度での22人削減は達成可能か。

ふた
見
えい
いち



市庁舎

答 指定管理者制度の一層の導入、公立保育園・幼稚園の民営化、水道料金の民間委託等により人件費削減と利用者の利便性の向上を図る。

質 行政評価制度の精度向上により、今後どのように進めていくのか。

答 総合計画の目標達成と市民要望を反映した予算編成を実施していきたい。

不登校対策を「点」から「面」へ

質 学校の内外に関わらず、子どもたちの居場所と学び、自立への支援が緊急課題です。その中でも、これまでとられてきた不登校対策事業を「点」から「面」へ拡大していくことが求められます。

小学校から中学校へ上がる時の『中一ギャップ』解消のため導入されている、35人学級（県事業）の拡大や専門職の横の連携が必要です。①スクールカウンセラー・心の教育相談員事業の課題②「適応指導教室」の運営方針と展望を伺います。

答 不登校対策事業が、相互に連携することは重要と認識。中一支援事業の他学年への拡大要望は多くの市町から出ているが、県での対応は困難。①スクールカウンセラーは訪問時間や小学校への訪問回数増加を県に強く要望したい。②「適応指導教室」は学校への自主的な復帰をめざし、授業形式での学習指導を中心に行う点が裾野の特徴。「学習の保障」と学校へ復帰した際の「教室での授業」へのスムーズな移行をめざして的確に指導・支援していく。

おか
もと
かず
え



適応指導教室



一般質問

企業要望全23項目についての 対応策について

杉 すぎ
本 もと
和 かず
男 お

質 企業要望全23項目の内、議会要望及び地区要望事項と照らし合わせた結果は、また、四役会議・庁議での対応は。

答 議会要望と15項目、地区要望と10項目、道路対策・住宅政策・安全安心なまちづくり等の要望が重複。四役・庁議に説明し、各所属での対応の検討を指示した。

質 最も多い道路関連については。

答 農免道路の北進等の広域的整備や交通渋滞対策事前調査（旅行速度）を実施。解析結果をもとに、課題の対策を国・県に働きかける。

質 急がなければならない住宅政策については。

答 環境整備のための都市計画道路・市道の整備、宅地供給の調査を行う。

質 弓道場の建設を。近隣市町には建設されているが裾野市にはない。検討してはいかがか。

答 義務教育施設等の耐震化等が優先。まずは愛好家の皆様には組織を立ち上げ、会員を増やし、体育協会への加盟等、検討していただきたい。



弓道場イメージ（御殿場市）

石脇油脂工場跡地利用方法の 再考を求める

小 こ
林 ばやし
俊 しゅん

裏切る事になり、住宅用地としての売却は考えていない。

質 市が計画している障害福祉施設は、一ヶ所造れば良しと言う物ではない。障害者が地域で暮らす支援のため市内各所に、早く、多くの拠点整備をすべきであり、大きな施設を一ヶ所造るという施策は時代に逆行している。

答 決して大きな建物を1つ建てて、全ての施設がそこへ入るという考えは持っていない。各障害に適応した適切な施設を考えている。

質 石脇油脂工場跡地は公害を止める為、割高な価格で市が買い上げた。第1種住居専用地域内にあり、良好な宅地となり得る。

当該地は市民の住宅用地として売却し、多数の福祉拠点の早急な整備を求める。

答 用地は6年前の議会で議決を得て買収。企業との交渉過程での、公共のためなら売却しても良いとの信頼を



石脇油脂工場跡地

常任委員会 委員

新メンバーの紹介



厚生委員会

委員長	増田喜代子
副委員長	勝又明
委員	大庭敏利
"	杉山本
"	瀧二見
"	一榮

市民部、健康福祉部の所管に属する事項、その他委員会で決定した事項の調査を行います。



総務委員会

委員長	高謙二
副委員長	三美代
委員	小良一
"	杉和高
"	大庭篤
"	土屋

企画部、総務部、出納室、監査委員事務局、議事事務局の所管に属する事項についての調査等を行います。



文教消防委員会

委員長	小林俊夫
副委員長	吉岡隆三
委員	渡部昭基
"	中西長
"	八木生

教育部、消防の所管に属する事項、その他委員会で決定した事項の調査を行います。



産業建設水道委員会

委員長	敏治
副委員長	邦平
委員	澤本
"	野川
"	又本
"	大勝岡

産業建設部、水道部の所管に属する事項、その他委員会で決定した事項の調査を行います。



委員長	男男子枝志子
副委員長	和篤節和高喜邦謙
委員	本屋川本庭田澤村
"	杉土大岡大増芹高
"	"
"	"
"	"

議会運営委員会は、定例会、臨時会の運営（日程案、議員提出議案などの取扱い）、請願、意見書、陳情、決議案の取扱い、議長からの諮問事項などについて、協議します。

構成は、各会派から一律1人を選出し、不足人員は、会派人数により割り振ります。定数は8人で、任期は2年です。

通常、毎定例会の前に2回開催され、また、会期中でも必要があれば、随時開催します。

議会運営委員会

行政視察

レポート

産業建設水道委員会

(視察先) 愛知県小牧市

(日程) H20年7月2日

3日

(概要) 小牧市では、駅前を中心に土地区画整理を行ってきました。500億円を超える規模で事業が終了し、事業ノウハウを直接聞くことができ、有意義でありました。

本年度、新たな「駅周辺整備計画」を提言するに当り、市民アンケート及びパブリックコメントを実施し、市民協働に向けて事業に取り組んでおり、手法・手順などが参考になりました。



産業建設水道委員会 (小牧市)

議会だより編集委員会



各常任委員会と議会運営委員会から選出された編集委員です。議会だよりは年4回発行します。ご意見をお寄せください。

委員長	岡本和枝
副委員長	勝又明
委員	増田喜代子
"	三富美代子
"	吉岡隆夫

意見書を提出しました。

(仮称) 裾野警察署新設に関する意見書

平成17年の「警察署再編整備計画」では、警察署の空白地域となっていた裾野・駿東地域に仮称「裾野警察署」を早期新設すると公表されました。これは、長年待ち望んでいただけに、裾野市・長泉町に係る者にとっては大きな朗報でありました。

しかしながら、早期建設の強い思いから両市町の行政や関係団体等による再三再四の陳情や要望活動にも拘らず、いまだに具体的な建設計画は見えて来ません。

今日でも住民、行政が一体となって事故や犯罪防止に日夜取り組んでいるところですが、交通事故の増加や昨今の犯罪の広域、凶悪化により、自助努力にも限界が見えております。

両市町合わせての人口は10万人が目前であります。新たな工業団地等の分譲により、優良企業の進出はさらに加速し、人口の増加は県内でもトップクラスであります。それに伴い、交通事故防止や防犯力の強化がさらに強く求められております。

市民の強い危機感のもと、治安体制の拠点として新警察署の早期設置を強く望むものであります。以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

ご意見・ご質問をお待ちしております。



- ・12月定例会は12月4日(内々定)からの予定です。
議会の活性化の為にも多くの市民の皆様の傍聴をお待ちしております。
- ・9月定例会の傍聴者は61人でした。

●あて先 〒410-1192
裾野市佐野1059 市役所内議会事務局
☎995-1839(直通) ☎993-7546
E-mail: gikai@city.susono.shizuoka.jp

裾野市のホームページで
議会をチェックしよう!

<http://www.city.susono.shizuoka.jp/>

編集委員

委員長	八木長生
副委員長	高村謙二
委員	勝又明
委員	杉本平治
委員	三富美代子

編集後記

▼秋風と共に一カ月に渡る9月定例議会の決算審議が終了しました。裾野市での大きな課題は①朝夕の渋滞解消②職住隣接のための新住宅地開発③将来の市町合併の問題です。

▼中小の課題はいくつもありますが、この3点の課題は一朝一夕に解決できる問題ではなく、今後とも現実をよく見極め議会と行政が知恵を出し合い解決へ向けて、一步一步前進していくことが大事です。

▼9月議会で議長、副議長、各常任委員会の新体制が決まりました。全議員で当面の諸課題に真剣に取り組んでいきたいものです。

▼国会も麻生新体制がスタートしました。米国でのサブプライムローンに端を発した金融恐慌は世界中に影響を与えています。その対応に準備おこたりなしとしたいものです。